

平成22年 第7回教育委員会 会議録

日 時	平成22年5月24日(月)午前10時～11時10分
場 所	向日市役所西別館 第6会議室
出席委員	前田委員長、雨宮委員、白幡委員、松本委員、奥野教育長
欠席委員	なし
事務局	教育部長、教育部次長、教育総務課長、生涯学習課長、学校教育担当課長、総括指導主事、文化財調査事務所長、指導主事、教育総務課係長
議 題	委員会諸報告
傍 聴 者	1名
委員長	開会宣言
委員長	本会議の傍聴を希望される方が1名おられる。 向日市教育委員会会議傍聴人規則に基づき、傍聴人の承認を諮る。  (全員異議なし)
委員長	傍聴人は承認された。
委員長	会議規則第8条の規定により、平成22年第5回及び第6回会議録の承認を諮る。  (全員異議なし)
委員長	会議録は承認された。
委員長	委員会諸報告について説明を願う。
部 長	平成22年度向日市一般会計補正予算(第1号)について  1 学校図書館教育を担う教員の研究支援や相談の実施など、図書館の有効な活用方法に関する調査研究を行うため、学校図書館支援員への謝金、調査旅費などを予算計上。なお、特定財源として、全額国庫委託金を充当。 2 日本の伝統や文化に関する教育について、教育課程上の位置づけ、指導方法等について実践研究を行うため、講師への謝金等を予算計上。具体的には、

	<p>第4 向陽小学校5・6年生の「総合的な学習の時間」において、外部講師による能の歴史講習や仕舞の実技指導のほか、竹細工の制作などを行う。なお、特定財源として、全額府委託金を充当。</p>
次 長	<p>学校図書館支援事業についての補足説明</p> <p>昨年度小学校に導入した学校図書館支援員を、今年度は新たに中学校を含め配置し、読書活動の一層の推進を図る。当初予算においては、市の単独事業として計上していたが、国庫委託金の対象事業として採択されることとなり、単独事業と補助事業を組み合わせる行うことにより、事業の拡充を図る。</p>
教育長	<p>「ことばの力」の育成については、従来から重点課題として取り組んでおり、学校図書館支援事業については、単独事業でもぜひ実施したいという思いで当初予算に計上した。また、補助事業の採択についても、京都府を通じて働きかけを続けてきたが、今回それが実現した次第である。この事業については、各学校から拡充の要望が多く、それに応えることができたと思っている。</p>
委 員	<p>【委員の意見等】</p> <p>具体的には、どれぐらいの拡充が図られるのか。</p>
委 員	<p>支援員には、どのような資格を持った方を配置しているのか。</p>
次 長	<p>(事務局の応答)</p> <p>委員の質問について 授業時間の配分等を工夫し、週2時間程度は増やしていきたいと考えている。</p> <p>委員の質問について 元教員で司書教諭の資格を持った方であり、ブックトークを取り入れた授業は、児童からも人気が高い。</p>
総括指導主事	<p>平成22年度指導主事・教育委員会学校訪問について</p> <p>訪問日程等について報告。</p>

<p>学校教育担当 課長</p>	<p>平成 2 3 年度小学校使用教科用図書採択について</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>乙訓地区小中学校教科用図書採択協議会のスケジュール等を報告。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>平成 2 2 年度向日市社会教育関係事業計画書について</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>社会教育関係事業の年間スケジュールを報告。</p>
<p>委 員</p>	<p>【委員の意見等】</p>
<p>委 員</p>	<p>「ふしぎ発見！理科教室」については、全 5 講座すべて同じ児童しか参加できないのか。定員以上の申込みがある人気の講座だと聞いているが、もっと多くの児童が参加できる方法はないのか。</p>
<p>委 員</p>	<p>・「学校支援地域本部事業」については、文部科学省からの委託事業として第 3 向陽小学校で実施されるとのことだが、他の学校でも実施することはできないのか。</p>
<p>委 員</p>	<p>・来年の 1 1 月に国民文化祭が開催され、向日市では「剪画展」が行われる。すばらしい作品が揃っているので、ぜひ多くの方に見ていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>「スポーツ選手活用体力向上事業（オリンピック選手等のトップアスリートによる講話及び実技指導）」「国体選手等派遣事業」について、今年度の実施予定は。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>（事務局の応答）</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>委員の質問について</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>前々年度までは、1 講座単位で募集を行っていた。しかし、すべての講座を関連付けて、児童の興味・関心を徐々に高めていくことが必要であり、そのためには同じ児童が続けて受講するほうが効果的であると判断し、昨年度からこの形で開催している。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>応募の状況を踏まえ、フォローが必要な場合は、学校への出前講座や京のまなび教室推進事業などの活用を検討したい。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>委員の質問について</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>地域ボランティアによる学校支援については、すでに様々な形で行われているが、それらを整理する必要もある。第 3 向陽小学校での取組みを先進モデルとして、今後の参考としたい。</p>

委員長	<p>委員の質問について</p> <p>トップアスリートの派遣については、前々年度はサッカーの元日本代表選手、前年度は女子バスケットボールのアトランタオリンピック代表選手を派遣していただいた。今年度も、各学校の要望を踏まえ実施したいと考えている。</p> <p>国体選手の派遣については、これまで年1回の実施であったが、トップアスリートの派遣が実施できなかった場合は、代わりに年2回の実施が可能となるよう京都府に働きかけたい。</p> <p>閉会宣言</p>
-----	---